

〒663-8558 西宮市池開町6-46 武庫川女子大学言語文化研究所 TEL 0798(45)3536 FAX 0798(45)3574

http://www.mukogawa-u.ac.jp/~ILC

新聞経済面の外来語 ~新聞4紙を資料として~

ここ数年、外来語に関する話題がメディアでよく取り上げられています。その多くは、外来語の氾濫を危惧する声であったり、意味が分かりにくいといったりするような、おおかたが批判的なものです。そのような流れの中で、先ほど、外来語の言い換え案が国立国語研究所から発表されました。その言い換え案についても、更にまた賛否両論、さまざまな意見がテレビや新聞紙上をにぎわしています。わたしたちは、日々の生活で、外来語を目や耳にしない日はないといっていいほどですが、では、実際に使われているのはどのようなものでしょうか。今回のリポートは、新聞の経済面を調査材料として語彙調査を行い、そこに現れる外来語についての報告です。経済を報道する際に避けて通れない外来語とは一体どのようなものなのか。以下に、調査結果の一部をお届けします。

◆調査の方法

朝日、毎日、読売、日本経済の新聞 4 紙(各大阪本社発行)の経済面において、2000年1月~12月の休刊日を除くすべての日の朝刊から、各 5 文を無作為抽出した。ただし、経済面がない場合は、経済に関する事項を扱っている面(朝日-該当面なし/毎日-経済が分かる、企業が見える/読売-エコノMIX/日経-Money&Life)からデータを収集することとした。そのデータをテキストデータとして入力し、プログラム処理によって、使われている語彙を調べた。自立語だけを対象とし、助詞、助動詞は含めない。そのようにして得られた語彙データから、外来語だけを抜き出した。

◆新聞間での比較

[外来語の少ない日経新聞]

表 1	朝日	毎日	読売	日経
日 数	311	347	352	354
全センテンス数	1,555	1,735	1,760	1,770
異 な り (G)	852	1,026	970	518
延 ベ(G)	1,968	2,385	2,593	1,329
1文当たりのG数	1.27	1.37	1.47	0.75

各新聞のデータ数は表1の通り。Gは外来語を表す。

特徴的なのは、日経新聞が異なり語数、延べ語数、1 文当たりの外来語数が他の3 紙に比べて少ないことである。日経新聞の全センテンス数は1,770と最も多いのに、 外来語の数は異なりでも延べでも最も少ない。 1 文あたりの外来語数も0.75と最も少ない。

反対に外来語の数が多いのは読売新聞で、異なり語数、延べ語数、1文当たりの外 来語数のいずれをとっても、日経新聞の2倍近い多さである。

[外来語を多用する読売新聞]

表 2 新聞別度数表

順位	語	朝日	読売	毎日	日経	
1	サービス	54	70	65	65	
2	インターネット	55	<i>78</i>	63	31	
3	グループ	48	73	51	27	
4	ネット	31	31	40	33	
5	システム	20	53	28	29	
6	ドル	27	54	21	24	
7	アジア	29	31	26	20	
8	メーカー	21	41	32	8	
9	ゼロ	24	15	10	<i>37</i>	
10	パソコン	21	25	23	8	
11	ガス	13	10	30	10	
12	アメリカ	1	<i>57</i>	4	_	
12	ユーロ	20	22	12	8	

上位13語の新聞別出現度数を表 2 に示した。太字斜体は新聞別に比べたときに最多のもの。外来語が多い読売新聞に集中している。例外は、「ネット」(毎日)、「ゼロ」(日経)、「ガス」(毎日)であり、外来語の少ない日経新聞に「ゼロ」が最多登場していることは興味深い。また、「アメリカ」(読売57)が、読売新聞に極端に偏って登場しているのは、朝日・毎日・日経が、アメリカをほぼ「米」と表記しているのに対して、読売は「アメリカ」「米」の両表記を用いているためである。

◆語彙表に見る日本経済

[ネット中心の日本経済]

表3は、4紙を総合して出現度数順に並べたものである。紙面の都合上、上位98位までを示した。最も多かったのは、「サービス」で、度数254。その後、「インターネット、グループ、ネット」と続く。「インターネット」が2位にランクインしたのは、経済もIT関連の語を抜きにしては語れない今の時代を映していると言える。4位の「ネット」も、「ネット時代」「ネットバブル」「ネット証券」「高速ネット」「ネット配信」「ネットを通して」「ネットで商品を見て」「ネットでの取引」などのような使われ方をしており、そのほとんどが「インターネット」の略語として使われているものである。また、「パソコン」(10位)もインターネットには欠かせないものである。このようなIT関連の語は、表中では8語あり、総度数は600である。現代の経済がいかに情報を中心とした動きをしているかを、ことばが表していると言えよう。

[バブル後遺症の日本経済]

経済と特に関連が深いと考えられる金融関係の語では、「ドル」(6位)、「ユーロ」(12位)などの通貨単位が上位にランクインし、世界経済の中でもアメリカやヨーロッパに関連する記事が多く掲載されていることが推測できる。また、「ローン」(23位)、「バブル」(25位)など、私たちの生活に身近な語も上位にランクインしている。文中では、「バブル崩壊後」「バブル期」「バブル時代」などの使われ方をしており、十数年前にはじけた「バブル経済」が、現在も経済に大きな影響を及ぼし、経済記事とし

表 3 度数順語彙表

順位	語	注記	度数	国研		順位	語	注記	度数	国研
1	サービス		254	0	-	52	マンション		26	0
2	インターネット	IT関連	227		!	56	シャープ	固名	25	\circ
3	グループ		199	\circ		56	ルール		25	\bigcirc
4	ネット	IT関連	135			58	ビル		24	\circ
5	システム		130	0		59	マイクロソフト	固名	23	_
6	ドル	金融	126	\circ		59	モード		23	0
7	アジア	固名	106	_		59	ライバル		23	0
8	メーカー		102	0		62	メートル		22	0
9	ゼロ	100日日7年	86	\circ		63	センター	V =T	21	0
10	パソコン	IT関連	77			63	デフレ	金融	21	
11 12	ガス アメリカ	固名	63	0		65 66	メール オープン	IT関連	20 19	0
12	ユーロ	金融	62 62			66	グローバル		19	*
14	ソフト	亚洲	60	0		66	セラ		19	_
15	エネルギー		59	Ö		66	メキシコ	固名	19	
16	データ		57	Ŏ		66	リサイクル	М-П	19	
16	デジタル		57	Ü		71	インフラ	金融	18	*
16	ベンチャー		57	*		71	デザイン		18	ô
19	テレビ		55		,	71	ピーク		18	
19	リストラ		55		,	74	イメージ		17	\circ
21	コスト		54	\bigcirc	,	74	エアコン		17	
21	ポイント		54	\circ	,	74	コンビニエンス			
23	マイナス		49	\circ			ストア		17	
23	ローン	金融	49	\circ	,	74	スピード		17	\circ
25	バブル	金融	48			74	テーマ		17	\circ
26	ビジネス		44	0		79	テレコム	固名	16	_
26	リスク		44	\circ		79	トラック		16	0
28	ナスダック	固名	42			81	サラリーマン		15	0
29	ハイテク		40			81	タイ	✓ □+	15	0
30	カード		39	0		81	ダウ	金融	15	\circ
30 30	ケース ソニー	田夕	39	0		81 81	フランス ペイオフ	固名	15	
33	ブランド	固名	39 37	0		81	ボーナス	金融金融	15 15	0
34	ソフトバンク	固名	36			81	メリット	亚洲	15	0
34	ナスダック・ジャパン	固名	36			81	モデル		15	0
34	ニューヨーク	固名	36			90	クレジットカード	金融	14	0
34	ホテル		36	0		90	シナリオ		14	\circ
38	ビール		35	Ō		90	ディスク	IT関連	14	
39	トップ		34	\circ	9	90	バレル		14	\circ
39	プラス		34	\circ	9	93	インタビュー		13	\circ
41	シェア		33	\star \bigcirc		93	タイヤ		13	\circ
41	ファンド	金融	33			93	チェック		13	\circ
41	ベース		33	\circ	9	93	ニーズ		13	
44	サミット		30	_		93	ファッション		13	0
45	ゲーム		29	0		98	アップ	A	12	O
45	スタート	****************	29	\circ		98	アナリスト	金融	12	*
45	ホームページ	IT関連	29			98	インドネシア	固名	12	
48	コンピューター	IT関連	28			98 00	オリックス	固名	12	
48 50	ドイツ インフレ	固名 金融	28 27	$\overline{}$		98 98	サウジ ソフトウエア	固名 IT関連	12 12	
50 50	トン	並附	27 27	0		98 98	ノウハウ	11 判理	12	
52	スーパー		26	0		90 98	フィナンシャルグループ		12	
52	ゼネコン		26			98	ラウンド		12	0
52	ネットワーク		26	0		98	ロンドン	固名	12	
				_	•	-	•			

て取り上げられていることが分かる。また、少数であるが、「ネットバブル」や「ハイテクバブル」など、「IT関連用語」+「バブル」といった語も経済面では使用されている。

[アメリカの影響が大きい日本経済]

国名では、上位から「アメリカ」(12位)、「ドイツ」(48位)、「メキシコ」(66位)、「フランス」(81位)、「インドネシア」「サウジ」(98位) となっていて、アメリカが最も多い。さらに、アメリカは、日経新聞以外の3紙では「米」と漢字表記が主に用いられていて、それを考慮に入れると、アメリカを表す語の出現度数は表の数以上に多い。以前から日本経済がアメリカの影響を強く受けていることが指摘されているが、それがまさに語彙の上にも現れているということである。なお、ドイツ、フランスについて「独」「仏」という表記は、それぞれ度数19、18あった。

◆言い換え案の外来語

さて、冒頭で触れた、国立国語研究所が公表した外来語は、経済面にどれほど現れているのだろうか。言い換え案は、現在、第1回、第2回が公表されており、合わせて114語が取り上げられている。そのうち、今回の調査で認められたものは45語。表2では「国研」の列に★印をつけたものである。以下、出現度数9までの語を挙げると、「ベンチャー」「シェア」「グローバル」「インフラ」「アナリスト」「フォーラム」「オンライン」「コンテンツ」「シフト」「マクロ」「データベース」「ビジョン」となる。

国研の言い換え案に取り上げられた外来語は、一般の人にとって分かりにくいとされる語だという。今回の調査で出現した、114語のうちの45語(40%)という数は、決して少なくない。このことは、経済面には分かりにくい外来語が少なからず出現していることを意味している。新聞の経済面がなじみにくいとか読みにくいなどと、しばしば言われるが、その原因の一つに外来語がかかわっている可能性が考えられる。

ところで、私たちは、意味のとらえにくい外来語というのは、新しく使われ始めた語だと思いやすい。今回の調査で★印をつけた言い換え語のうち「ベンチャー」「グローバル」「インフラ」「アナリスト」は、実際、新しいことばで、昔の新聞の語彙調査」には登場していない(登場している語には○印をつけている)。

しかし、言い換え案に取り上げられた語が、すべて新しい外来語というわけではないようで、昭和41年当時の新聞にすでに出現している語がいくつかある。それらは全部で5語あり、「シェア」(41位/度数33)、「マクロ」(116位/度数10)、「ビジョン」(130位/度数9)、「ダンピング」(207位/度数6)、「リアルタイム」(390位/度数3)である。これらの外来語は、新聞で使われるようになって少なくとも37年以上経っているわけだが、その語を使うことの是非がまだ問題にされているというわけである。特に、「シェア」は、今回の調査でもよく使われていた語であるが、こういう語も言い換えを要求されるとなれば、経済記事を書くのもさぞ大変なことだろう。

データは修正すべき点を残していますが、新聞経済面に現れる外来語について、 その特徴の一部を示すことができたのではないかと思います。外来語の問題は、 根が深そうです。引き続き、観察を続けたいと思います。

担当 佐竹 秀雄 岸本 千秋 作業協力者 安藤 彩子 千葉 佳津子 2003.0ct.

^{1 『}国立国語研究所報告38』(国立国語研究所 秀英出版 1972年)では、昭和41年 (1966年) 1年分の朝日、毎日、読売 3 紙についての語彙調査の報告がなされている。